

新春特集号

石川保険医新聞

発行所
 石川県保険医協会
 金沢市尾張町1丁目9番11号
 尾張町レジデンス2F
 電話 (0762) 22-5373番
 発行人 後藤 博之
 印刷所 ユーアイ印刷
 (会費 月額 3,800円)



撮影 宮村明子

堅香子の花を攀ち折る歌一首
 もののふの八十をとめらがくみ亂ふ寺井の
 上のかたかごの花
 大伴家持

天平勝宝三年三月二日作
 (萬葉集十九卷、四一四三)

三月の末から四月のはじめごろ近くの山にのぼると、雪の消えた雑木の根方あたりからカタクリが角ぐんでいのをよく見かける。カタクリは片栗、むかしはかたかごと行ってユリ科の花である。

まもなく紅紫色の六枚の花びらを、まるで伐折羅大将の怒髪のようにそり返らせ、傾いた籠のようにうつむき気味の花をひらく。やがて一面、花の絨毯となるころ、羽化して枯葉の裏にひそんでいたギフチョウ(岐阜蝶)が密を求めて寄ってくる。一つの花にカメラを向けてじっと待っているとかならずやって来て止まる。羽の地色は黄色で黒い帯が数条、それに赤、紫、橙の斑紋があり、まことに美しい五色の蝶。体長一・八センチ、羽をひろげると五センチあまり、揚羽蝶の仲間である。

彼女たちが花から花へ素早く飛びうつり舞いあがる様子は、まさに生命の讃歌、早春の宴、この世のものとも思われない。

さて冒頭の歌、天平十八年(七四六年)越中の国守として今の富山県高岡市伏木にある国府に赴任してきた家持もはや三十三歳。四度目の春を迎えている。

三月一日(旧暦)、まだ雪の消え残っている苑を眺めて有名な八春の苑くれなるにほふ桃の花した照る道に出で立つをとめVを詠んでいるが、これはその翌日、国府にほど近い国分寺での作である。よほど詩心が昂揚していたのだろう。

多くの少女たちが入り乱れて用水の水を汲んでいるお寺の泉のほとりにはカタクリの花が一面に咲き乱れていることよ、となろう。笑いさざめく少女たちは、さながらギフチョウ。長い冬から解き放たれ春を迎えた喜びを一幅の絵として情感ゆたかに詠み上げている。

(津川洋三)

医心凡語

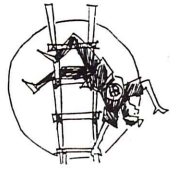
雪なし正月の予報も大きく外れて、暮の二十三日から雪が降り始め、ゴルフファンの初夢杯の期待も消え去ってしまった。しかし、それまで雪が降らずヤキモキしていたスキー場は予報通りでほっとしたであろう。新年会はそれほど多くはないが、暮の忘年会は連日で、さすがにウンザリしたが、夕方になると又飲めるのが不思議である。

徒然草の中で兼好法師は「うるはしき人も、忽ち狂人となりてをこがましく、息災なる人も、目の前に大事の病者となりて、前後も知れず倒れ伏す。明るる日まで頭痛く、物食はず、によひ臥し、生を隔てたるやうにして、昨日の事覚え、公・私の大事を欠きて煩ひとなる。」と述べている。これは典型的な二日酔いの状態であるが、自分自身以外に他人までも「心にくしとしり、詞多く、日ごろの人とも覚えず。」のように酒は百薬の長であるが、過ちが多いことを諭している。

一日一六〇グラムのアルコールを一週間飲み続けるとアルコール性肝炎が起こつてくると云う。一六〇グラムという日本酒にして六合である。六合はなかなか飲めるものではないが、昨年十月の健保法改悪から三ヶ月、そろそろ影響が始めた昨今、酒で憂さを晴らす気持はこの時勢では当然であろう。

焦点

60年代の医療と開業医の役割



勤務医の諸君の方が今後の悩みが大きいのではないかと。研究医はほとんど教授になれない。臨床勤務医は余程のチャンスがなければ院長になれない。住民の大病院指向は強いけれど住民との接触が最も強く、地域医療の担い手は開業医以外にはないことに、もっと自覚と自信をもつべきである。そのためには、

- 一、一・五歳、三歳児検診、母子保健、保育所、幼稚園、学校等の健診、産業医活動、老健法ヘルス事業等を中心に住民全階層との接触を密にする。
- 二、行政の行う保健事業の主導権を掌握する。
- 三、官公立病院が紹介患者さんのフィードバック先の選択を迷うとき、危惧感を与えないために研修は勿論だが、
- 四、在宅ケアの各種行為を組織的に病診連携を密にする。
- 五、病院の減量経営のためホテルチャージ分を切り離す努力が必要。まず給食の外注から。
- 六、医療もサービス業である以上、院長以外全員に対してその目的のための再教育を考へることがいま必要になってくる。(内科)

待ちからの脱皮

鹿島郡 辻口 昇

経済主導型の医療費抑制手段として政府厚生省が医療のシステム化、情報のシステム化、そして医療指向医学から健康指向医学へと進む中で、開業医は原則として一次医療(プライマリケア)を受持し、守備範囲を広め、且つ経済基

盤の確立から高価な医療機器、設備等は最小限にして、従来のような待ちの開業医から開かれた医師、対話と協調、主張と行動の医師へと体質改善、自助努力をし、コンピュータ化出来ない心あるカウンセラーリング等で医師と患者の信頼関係、良い人間関係を基本としながら、他方同僚医師との協力、相互援助を深め必要に応じて外部の支援要請や地域の関係機関との日常交流を積極的に継続する等、開業医学と云ったものを創造していかねばならないと思う。(鹿島郡医師会会長・産婦人科)

老人保健法施行を突破口として医療費抑制政策は一瀉千里に走り出した。行政は福祉の医療化をこれ幸いと放置し、その大部分を民間に依存していた挙句、医療費増大の壁にぶつかるとそのツケを民間医療機関に押しつけている。医療そのものでなく医療費抑制を目的とした医療法改正が意図しているものは、開業医の次第に拡大の方向に向かうスクラップ化である。安閑と路線を走らせていたら自由開業医制は実質的に崩壊する。開業医は地域の中で住民と

踏んではならない諸外国の轍

金沢市 森下 智

信頼に基づいた医療を行なっており、その関係は何者にもゆるがされない確固たるものである。総論的に如何に誹謗されようと自由開業医制が最良のものであることを地域の人は肌で感じている。開業医はこの信頼を裏切らないためにも更に地域に密着して、患者のための医療システムを考え提言していく必要がある。

医療費抑制を目的とした医療制度が矛盾と破綻の憂目をもっている諸外国の例と同じ轍を踏ませてはならない。(外科)



昭和六〇年の新春を迎えるに当りご挨拶申し上げます。まず本年の希望をのべる前に五十九年度をふり返ってみたいと思います。昨年、私達協会は一〇周年を迎え、いろいろと記念事業を実施しました。更に医療行政面で大きな変動があり、協会もかつてない大きな活動を行いました。継続事業である「健康なんでも相談」「老人の医療・福祉一〇番」等は引き続き実施し、特に健保法改

悪反対運動は地域住民の賛同を得て国会請願署名、数回のシンポジウム開催、地方議会への請願では過半数の自治体で反対決議が得られ、特に五月十三日に取組まれた保団連主催

年頭にあたって

会長 後藤田 博之

の全国保険医決起集会には石川協会からも二〇名が参加し、全国から二、〇〇〇名を越す開業医、家族、従業員が参加し、集会后は白衣姿で銀座をデモ行進しました。私、デモ行進

運動にもかかわらず一〇月一日から新健保法が実施されることになり、したが、これらの運動は決して無駄ではなく、政府原案が大幅に修正されたことは大きく評価できるもの

に参加したのは初体験で照れくさい感じがしましたが、行進を開始すると胸を張って最後まで参加でき、ストレスの解消にも役立ちました。しかし、このような全国的な反対

と参加したのは初体験で照れくさい感じがしましたが、行進を開始すると胸を張って最後まで参加でき、ストレスの解消にも役立ちました。しかし、このような全国的な反対

と参加したのは初体験で照れくさい感じがしましたが、行進を開始すると胸を張って最後まで参加でき、ストレスの解消にも役立ちました。しかし、このような全国的な反対

安すぎる技術料

羽咋市 足島 巖

日本人が外国旅行中病気になる、外国での医療をうけて費用の高いのに驚く。外人が日本で医療をうけて費用が安いのに驚く。どうしてそんなに安いのか不思議がる。下手だからそんなに安いのか。厚生省の保健官僚は、諸外国の医療についてよく調査をして

術、胃切除術の手術料をアメリカと日本との比較をして、百分の一程であったのに、激しい怒りを感じ、その後、虚脱感が心の中を吹きぬけたことを覚えていた。これではいけないとある学会に『某病院における外人治療の実態』と題して発表をしたが、実は日本国内の医師の技術料が異状に低くおさえられていることを訴えたのだった。

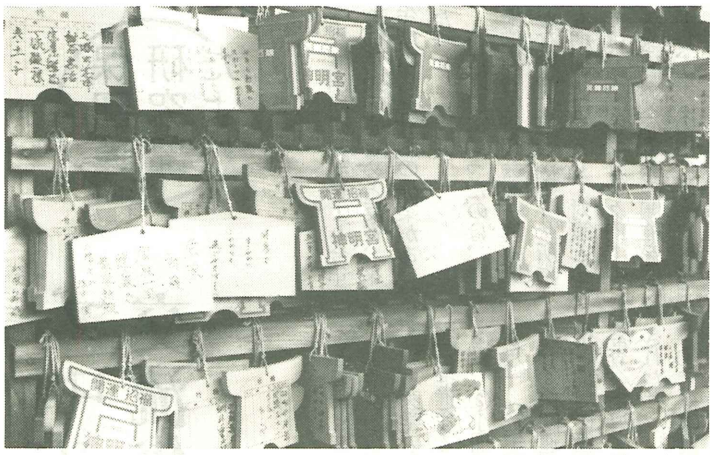
それから二〇年経過し、あたかも低料金は改善されたように思われたが、それはまだまだで、手術料は米国の約二

(羽咋郡市医師会会長・外科)

私の初詣 金沢五社めぐり

金沢市 栗野利雄

ゆく年くる年の瀬には心わびしく何か心の頼りが欲しい。苦しい時の神だのみが人情で



上：神明宮境内の絵馬
(金沢市野町2丁目1-8)
中：安江八幡宮の鳥居
(金沢市此花町11-27)
下：宇多須神社近くの東廓
(金沢市東山1丁目30-8)

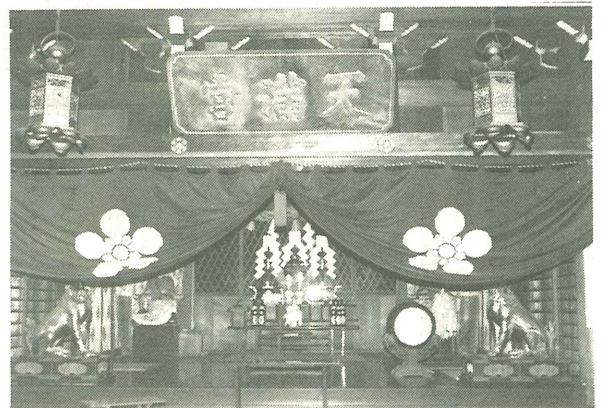
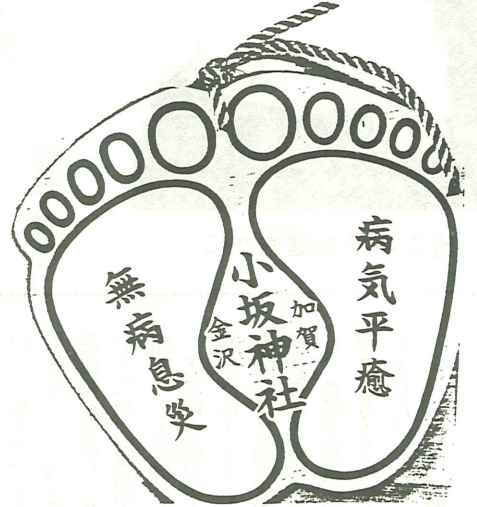
ある。そこで手近な市内の五社めぐりと相成った次第である。加賀之國金沢の五社とは何か、前田藩主の崇敬を一身に宛めたのが以下次に廻り歩く五つの神社がそれである。その巡路から申し上げると、
一、神明宮(お神明宮さん)
近くに西廓と北廓が控えていた。花街の守神ともなった境内のわけやきはシンボルである。あぶり餅、左義長の元祖でもあるという。絵馬がふさふさと吊り下っているのも庶民の諸願成就を物語る。
二、安江八幡宮(鍛冶八幡)
加賀八幡起上りと安産の神らしい犬の絵馬が吊り下っている。鍛冶町の名の如く古くは刀鍛冶の町であった。
三、宇多須神社(毘沙門さん)
町並保存地区東廓の外れにあり廓全盛時は一带の信仰を恣いままにして遊女たちの賑こみ寺ともなったのではないが、今は昔を忘れたように静かな佇まいが残るのみ。
四、小坂神社(春日さん)

そのの茂みはひっそりと商売の駐車場もなく狭い石段は登るのに息が切れる。病氣全癒祈願に霊験ありとか。
五、榎原天満宮(お天神さん)
高い石段を登りつめると絶

景が展開する。戦国武将の布陣の跡ともいう。菅原道真を祈る学問の神として人気がある。
以上でありまして最近では医療施設の倒産も続出で世相も

「めでたさも中ぐらいな初詣」

上…小坂神社の絵馬 (金沢市山の上町四二二)
下…榎原天満宮の本堂 (金沢市天神町二丁目一十三)

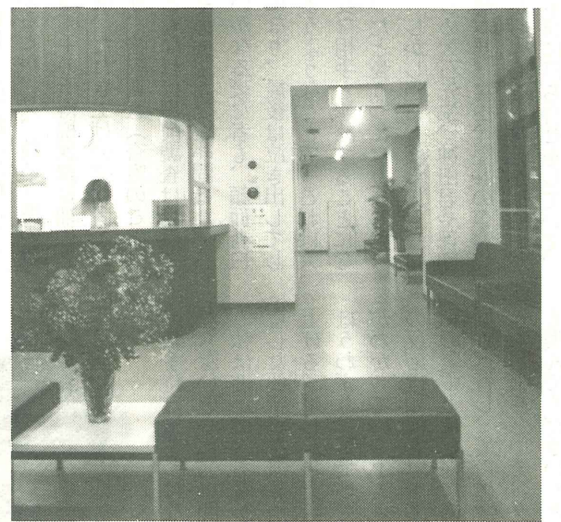


医院建築にもひと工夫

石川門から公園下を通り、兼六大通りを南へ二キロ下ったところの右側にグリーンの流れ大屋根の小坂旭町医院がある。

これは金沢医科大学消化器外科の創始者である小坂進先生が、昨年五月に大学をやらめ新規に開業した小坂旭町医院である。

雪晴れのある木曜日の午後に取材に訪れてみた。待合室は天井が高く、ゆったりとした空間がクリーム色の壁に囲まれ、ホテルのロビーといった風情である。診察室は三ヶ所にあり、帰路とな



ゆったりしたスペースの小坂旭町医院の待合室

外来専門外科の試み

先生の話によれば、社会保険本人の自己負担時代への対応として、小児外科での体験で得た臓器に対する愛護的手術方法で治療期間を短縮させ早期退院を可能にしようとしているが、経済的制約から大学病院なみの検査ができなくなったことが不満であり、このような一種の医療制限が日本の医療を後退させはしないか憂慮しているとのことである。

新しいオープンシステム

外来専門とはいえ、院長の手術を希望する患者さんには、村彦病院と聖霊病院で手術をさせてもらうという一種のオープンシステムへの試みは新時代への適応の姿勢とうかがえた。立地である旭町は金沢大学が将来に移転する角間地区の入口であるので発展が期待される。

休診の木曜日の午後というので浦波の小坂旭町医院を開業中の牧子夫人も同席したが、小柄な美人で、ライトグリーンのワンピースが印象的であった。(O記)

昭和五十九年五月七日開設職員四人(看護婦二人、薬剤師一人、事務員一人)

標準科||胃腸科、外科、理学診療科、内科、小児科

お訪ねします (その1)

“小坂旭町医院”の巻

—59年5月開業—

診察室から受付・薬局・検査室への直接いける構造は職員



小坂 進先生

保団連 研究部 だより

ブロック毎の 交流集會を期待

理事 西村 邦雄

12月23日

まず川口研究部長より今年度の活動のまとめと反省、来年度の活動計画の提案があった。

特に問題になったのは、学術的内容の研究會を一度も開かなかつた協會が十一ヶ所にも増加したことで、対策としては、「①各ブロック内での医療活動交流集會の開催を促進し、集會の中で学術研究會活動の交流を行う。②小規模協會に対しては、保団連が講師派遣を斡旋する。」という

ことでまとまった。

他議題としては、①第一線医療・医学の創造と実践の課題を推進するための具体的な活動、②小冊子「研究会の開き方」(53年版)改訂版の発行、③保団連研究部体制の強化と部員の役割の明確化、④審査・指導・監査対策が討議された。

①では(1)慢性疾患の指導・管理・運動療法、食餌療法等のマニュアル作り、(2)学術研究会活動の具体例の「月刊保団連」に掲載することになった。

②では、各協会の研究活動の実例を大協会ばかりでなく、石川、富山など中小規模協會からも取り上げることになり、

③では、学術研究活動、審査対策活動とも研究部会として重要な活動分野であり、部員数も少いことから、これまでと同様全研究部員がいずれの分野にも参加することを確認した。

④では、「(1)主治医としての責任ある診療、カルテの整備を含め、どこに出しても疑問のない診療、医師仲間からも信頼され、患者からも納得される診療を全会員ができるよう、学習、研修活動を重視する。(2)不当な査定、減点に対しては放置せず抗議、再審査請求を行うなどの対策を強める」という方針が確認された。具体的には、「(1)保団連研究部にも保険審査の相談窓口を設置する。(2)各協会における不当な具体的事例を集約し、厚生省、基金等に申し入れを行う。(3)各県の審査改善運動を交流し、教訓を引き出すため、審査担当者会議を開く」ことになった。

私の工夫 家庭における 乳児の省エネ暖房法

冬の寒さの中での赤ちゃんの哺育はむづかしいものですが、次のような方法で



省エネでも健やかに

暖房すると灯油もいらず、赤ちゃんも温かく、鼻もつまらず大変便利です。ベビーベッドの四側面の柵に、バスタオルをかけ、外と内の面をそのタオルで覆い、大きな安全ピンでとめる。床は毛布、フトン敷布で保温し、足もとに電気アンカを置き掛けフトンをかける。

深夜には顔の上をのぞいて毛布をスポリとかける。寒暖計は頭側の柵の片隅に安全ピンでとめる。(適温は二十度プラスマイナス四度) サークル内の空気が乾燥したり冷たくなったりしないので、赤ちゃんの鼻づまりがなく皆さんに喜ばれています。

(産婦人科医)



カットは「保険医の税務調査」(月刊保団連第188号)より転載

昔から泣く子と地頭には勝てぬと云われるが、現在もこの名言は生きています。私は思っている。子供の頃、悪いことをすると「おまわりさんが来るぞ」と驚ろかされ、びっくりしておとなしくなりましたが、大人になった今、「税務調査に来るぞ」と云われれば(事前通知)びっくりして、診療もついおろそかになりがちです。ましてや、ある日突然に来られれば仰天し、正常な思考力が失われるのが普通の人間であろうと思っております。

たないと思ひ、私なりに勉強しました。しかしこれが、つけ焼刃というか生兵法というか、かえって萎縮する結果になってしまったのです。

金沢国税局に 乗り込んで

経営対策部長

加藤 日出治



ようやく気分が落ち着きました。そこへ、いざこからともなく突如として人が現われ、私達を二列に並んだ机と椅子だけの殺風景な部屋へ案内しました。

さて、午後一時半、懇談開始、相手は三名、当方は七名、南北朝鮮会談の如く、間に溝を置いて相対してそれぞれ一列にすわり、各人緊張の面書きである。始めに自己紹介に入ったのですが、相手の一人は自分の名前すら云おうとしません。結局、私の強い要望で名前は云ったのですが、初対面の話し合いで、名前を云わないとは、これは襲以前の問題だ、このような異種人間

理解してほしい 開業医の二面性

私ははっとすると同時に、これは役者が数枚上たわいと思ひました。まあこれで、互いに緊張もほぐれ、実のある討議に入ったのですが、懇談の中味は、神田君の記録(北信越ブロックニュース)に譲り、私は印象だけを二、三述べさせていただきます。

それは、税務署員も人であり、彼等にもその立場があること。又、大石先生が云われた、私達開業医は国民の生命を預かる大切な仕事と経営者として、従業員や事業を守って行かねばならないという二つの性格を同時に持っているわけですから、普通一般の事業経営者としてのみとらえた税務調査は絶対にして欲しいとの言葉が印象に残りました。

泣く子と地頭に

ところが昨年十一月下旬、神田事務局長が来て、この鬼より恐い国税局へ北信越ブロックとして懇談を申し入れるので、私に出席しろと云われ、十二月十九日午後の一時間、第一合同庁舎国税局での懇談に出席することを承知させられてしまいました。それからというもの随分と気が滅入りました。しかしこれでは、最近協会が行った税務調査アンケートで高い関心を示した会員のみならず、

すなわち税務署員は国家権力を有し、かつ税法に精通しているとか、又、特に今度の懇談相手の所得税課課長補佐とは、たつき上げの実務者であり、強制調査(査察のこと)ともなれば事前調査は当然で、その調査時の訊問は凄く、いかなる豪な者も、顔面蒼白になり、最後は泣き出してしまふようなことで、これは大変な相手と懇談することになったと憂うつになりました。

しかし当日、後藤田会長はじめ大石先生、神田君や保団連本部、富山、福井の事務局からも心強い味方が来られ、事前に打ち合せをしていて、

と話す時は気をつけなくてはならないと心に云い聞かす。私は俄かに、あらかじめ用意した要領書を無表情に読み上げる。しかし実際は、声はうわづり、緊張しているのがわかっていて、さて相手の反応は如何と思つて見ると私の緊張とは反対に柳に風の如く返答し、最後に「まあ皆さん緊張をといで、タバコでも喫んでください」と来られ、

最後に遠方より応援に来て戴いた牛越、勝田、高橋各事務局員に厚くお礼を述べて、金沢国税局との懇談の印象記を終えさせていただきます。

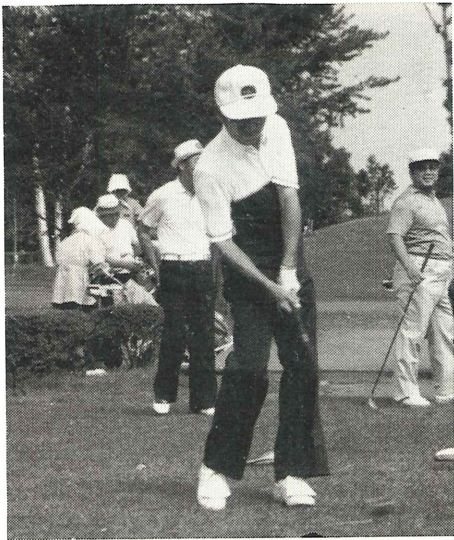
(保団連研究部員)



シングルプレーヤーになる ダウンズウィングは 左肩から

野々市町 渡辺 幸夫

シングルプレーヤーになるには素質、根性、体力、器用さなどが備っている必要があると一般には信じられている。しかし、私には欠けているものばかりである。それでは何



昨年10月にシングルとなり現在ハンディ8の渡辺先生

が私をシングルプレーヤーにしたのだろうか。それは「練習にはシーズンオフはない。シーズンオフこそシーズンである。」これを実行するよう

プロのレッスンを受けるのが上達の早道かもしれない。ゴルフをするのは他人ではなく、自分であり、他人に自分

は理解してもらえないという妙な信念を頑く守り続け、誰にも教えをうけることなく、練習をしてきたため、ユニークなフォームになって

しまった。私のフォームをみて「五〇歳を過ぎたらダメになるだろう」「マネのできないゴルフだ」「スコアカードを見るまでは上手いと納得のできないゴルフだ」などと人はひやかす。しかし、ユニークでもよ

いから、フォームを固めることが上達のコツだと考えてきた。練習場ではいくつものチェックポイントを考えながら

協会、保団連とも 史上最高の活躍

—保団連第三回幹事会より—

十二月九日に開かれた保団連第三回幹事会は活動の反省と来年度の総会の活動方針案の検討が行われました。昭和五十九年度の活動の中で、健保改悪反対運動では千五百万を越える署名、全国自治体の過半数に及ぶ反対決議を得ることができ、医療運動史上最高の盛り上がりを見せ、保団連組織の団結と多くの国民との連繫が強まりました。

不当な審査姿勢・税務調査・事業税に反対し、老健法にもとづく保健事業に対する課税を公害医療なみにすること

療費の自己負担限度額を五万円に据置き、同一家族合算制度の新設など一定の譲歩を獲得できました。更に厚生

省・中医協に差額徴収範囲の拡大に反対を申し入れたり、二十七都県で自治体独自の福祉事業を健保本人にも適用さ

せ、九府県で医療費の代行払いを認めさせた。第一線医療・医療の創造と実践、地域医療活動の広がりを来たしてい

ます。このような保団連の活動にこたえて、会員増加率は十二月九日現在で年間目標の九割を達成し、また協会のできな

いのは沖繩一県だけとなりました。これらは保団連及び石川協会に於ても私が知り得る

最高の活動であり、その成果も見るべきものがあります。来年度もまた活力ある開業医集団として、あらゆる問題に対して活動を強めてゆくこと

でしょう。(副会長 平松昌司)

協会の行事案内 第151回保険診療研究会

テーマ 誤まりやすい皮膚外用療法
講師 石川県立中央病院 皮膚科診療部長 川島 愛雄 先生
とき 1月25日(金) 午後7時20分
ところ 石川県医師会館一階

素人は下半身からリードするのではなく、結果として右半身について下半身が廻った方がよいと考えている。ゴルフの上達は「急がば廻れ」である。今後自分でもコツコツと練習を積み重ね、いろいろとフォームをいじり廻すことを楽しみにし、「昔はよかったなあ」などと過去の栄光に浸って昔を懐かしむだけでなく、今年も更に一段階上を目指して頑張りたいと思っ

た。最近、「保守契約」なるものが大流行している。X線テレビ、内視鏡、レセプトコンピューターから浄化槽まで、年間いくらか(それもかなり高額)の金を要求してアフターサービスを求める。以前は自分が売ったものは、材料費は別として調整とか、ちょっとした修理はやってくれたもの。今のメーカーや販売会社のせこきには全く腹がたつ。皆さん、どう思いますか。(内科医)

はた迷惑な大衆薬売込み
十二月号日経メディカルに「医薬品業界に大衆薬の見直し熱」との見出しで医療費抑制策と薬価の引下げ、薬品需要の伸び悩みの対策として製薬メーカーは大衆薬(OTC薬)の活性化をはかるといっている。具体的には医療用医薬品の有効成分を大衆薬に導入したス

イッチOTCが増加していると報じている。これにはちょっと問題があるのではないか。最近売られている感冒薬で鼻炎カプセルなるものがある。その中味は単なる塩化リゾチームが入っているだけで、あたかも特効薬的宣伝をしているからだ。今後ますますこうしたOTCが出ると思えるが、われわれとしては、はなはだ迷惑なことだ。(外科医)

第37回健康なんでも相談

日常生活の心得を 分りやすく

第三十七回健康なんでも相談は金沢市光が丘光寿会の主催で十二月九日(日)、光が丘会館で開かれました。

光が丘光寿会は今回で二回目、協会からは地域医療対策部長の大野幸治先生(内科)、部員の大野幸治先生(整形外

科)、大滝三千雄先生(泌尿器科)が出席し、大滝先生の司会ですすめられました。参加者二十八人。

まず大場先生より「腰痛について」の話題提供があり、老人の腰痛の多くは骨の老化によるもので、「骨粗鬆症」

について分かりやすく説明されました。骨の老化の原因は何か、また対策として食事療法による予防、薬剤による治療、日常生活上の注意点などが話されました。

次に大野先生より「老人の寒さと健康」について、手

書きの大きな文字で愉快なカットの入ったしおりを使用し、これから寒くなる冬に向けて老人が注意しなければならぬ病気を呼吸器、循環器運動器に分けて説明されまし

た。特に脳卒中や心筋梗塞など危険な病気についての予防、日常生活上の心得など分かりやすく話されました。

質問では、仲間の老人が倒れた時の対処の仕方や、リウマチと神経痛の違い、脊椎分離症、コレステロールの計り方、高血圧と薬、前立腺肥大症等、多岐にわたって相談が寄せられました。

です。



ドライフラワー 粟野利雄

NIKA 69

二科展 金沢展

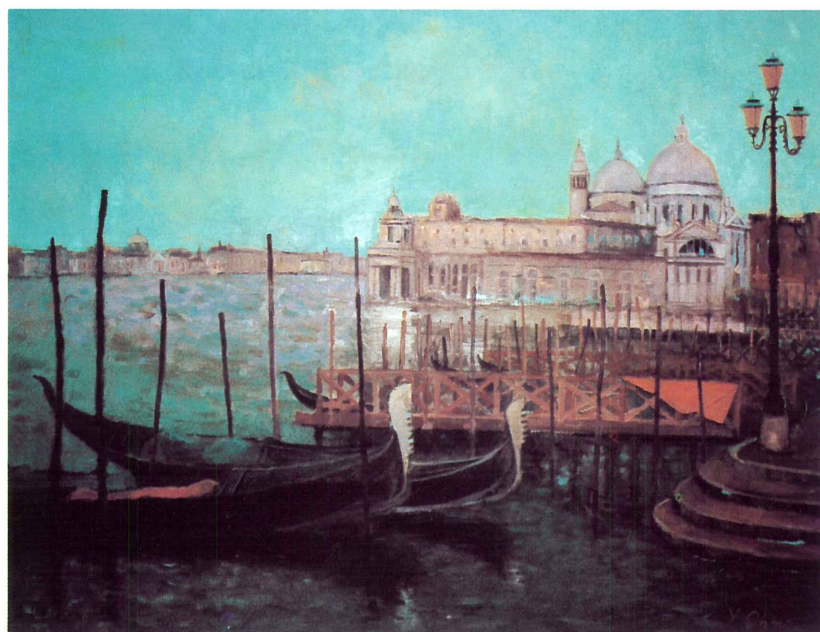
12月13日から25日まで石川県立美術館で二科展金沢展が開かれたのを機会に、二科展に入選された5名の協会会員の作品(絵画)を掲載させていただきました。



風船と人形A 石野竜山



遥かなるロッキー 石田直行



憩うゴンドラ 大野幸治



静物(I) 横井衛